

令和5年度 看護師長交流会を開催しました

日時：令和5年8月3日（木）9：00～13：00 Zoomによるオンライン開催

講演：看護職の多様な働き方とやりがいについて考えよう！～働き方改革関連法をご存じですか～

講師：公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課 課長 小村由香氏

看護師職能委員会Iでは、平成28年度から「看護職の働き続けられる職場環境整備の支援」を進めております。今年度は、「NEXT WORK STYLE」～働き方改革 今までとこれから！働き続けられる職場環境の整備は進んでいますか？～と題して、多くの看護管理者の皆さまとより働きやすい職場に整備できるように Zoom 交流会を開催しました。参加者は看護師職能委員会Iの委員を含めて41名で、日頃の思いを語り合い、働き方について考える場となりました。

看護師職能委員長Iの千葉真理子による開催の挨拶に続き、6グループに分かれて「自分へのご褒美」や「参加動機」も加えながら自己紹介を行い、それぞれの状況を共有しました。コロナ禍から感染症第5類となり、職場での対応や多種多様な考えの働き方の尊重、仕事と家庭の両立における離職、様々な難しさなどが話題提供され、Zoom内でも顔の見える関係が生まれ、和やかな中で小村先生の講演が始まりました。講演では、以下の内容についてデータを示しながら分かりやすく伝えていただきました。

1. 国が進める「働き方改革」について
2. 看護職員の就業状況
3. 「看護職の働き方改革」と日本看護協会の取り組み
「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」
4. これからの働き方について

講演後、再度グループに分かれ「明日から現場で出来ること」をテーマに話し合われました。小村先生にも各グループへ参加していただき、楽しく意見交換することができました。最後の全体共有では、離職の問題について、小村先生からワークライフバランスの重要性や二者選択をさせない等、具体的で貴重な助言をいただきました。

終了後のアンケートでは、「小村先生の講義は大変参考になった」「働き方改革、就業前残業、時間外労働、離職について、他の病院とも語り合え、職場の課題解決のヒントをもらえた」「職位を超え交流会に参加できた事で今後、自部署での役割発揮に活かしていきたい」「悩みを共有しストレスも緩和できモチベーションが上がった」などの感想がありました。オンライン開催については「多少問題はあったが解消できた」との回答が少数ありましたが「事前の練習会を設けていただき、大変助かりました」と、事前 ZOOM 練習についても評価の声をいただきました。皆様のおかげで、大変充実した交流会を開催することができました。今後の開催については、オンラインでの開催を希望する意見が8割でした。テーマについては「同じテーマで学びたい」「心理的安全性について」「院内外問わず他職種との連携の仕方」等のご意見を頂きました。次年度の企画に活かしてまいりたいと思いますので、ご期待下さい。

